

中河原駅周辺の交差点
課題への解決策は交差点内の信号処理が
最も合理的な解決策と考える

高野 政男議員(市政) 中河原駅周辺は、常時多くの人と車などが集中する交通の要所である。しかし、同駅周辺には信号に従い横断できる交差



▲中河原駅周辺交差点

移動が最も合理的な解決策と考えている。交差点の改良を進めるにあたり、道路管理者である都などの各機関に課題を投げ掛けてはいるが、先へ進展しないのが実情である。

点は2か所しかなく、多くの方々から、「安全に平面で行き来できる横断歩道の設置を」との要望を聞く。

そこで、同駅周辺の交差点について、課題を聞きたい。市長 同駅周辺の道路が複雑な構造であり、駅に隣接した歩道橋を利用せず道路を直接横断するなど、交通安全上からも問題と考えているので、何らかの改善策を検討することが必要と考える。

都市整備部長 交差点内の信号処理による歩行者等の平面

防災分野での女性参画
女性の視点に立った指針づくりを避難所運営マニュアルを
策定する中で検討していく

重田 益美議員(ネット) 平成20年5月に府中市男女共同参画推進懇談会から、防災分野での女性参画、女性の視点に立った具体的対策の必要性について報告書が出されているが、これを受けての市としての率直な感想を聞きたい。

環境安全部長 女性の視点から見た防災対策は非常に重要であると考えている。今後、具体的な災害対策本部運営マニュアルの策定に取り組む中で、総合的に検討していく。

議員 阪神・淡路大震災や新

新規の大規模事業よりも
既存の大規模施設の改修を
優先すべきでは

平成22年度より
改修計画の協議を始める

前田 弘子議員(ネット) 平成20年度から25年度までの市財政見通しと、20年度、21年度の財政の実績から計算すると、今後、市民サービスに直結する経常経費は、年2億円程度の減額となる。一方、大規模事業費など投資的経費は年137億円程度と、今より大幅な増額になる。

この経常経費の減額は何を減らしていく考えなのか。財政担当参事 減額は、公債費の償還利率の見込みの見直し等による積算の差異により

小学校児童所持の防犯ブザー
ブザー音の認識を広めるため
希望する市民へ販売する考えは市長部局と連携を図り
検討していきたい

村井 浩議員(市フオ) 本市では、小学校児童を対象に防犯ブザーを手渡しているが、防犯ブザーは渡せばそれでよいまいか。

参考、防犯ブザーの所持率と作動状況を知りたい。

教育部長 現時点で、防犯ブザーを所持している児童の割合は69・6%で、正常作動者の割合は85・1%である。

議員 様々なブザー音の種類がある中、防犯ブザーが鳴れば、それは助けを呼ぶ音だと



▲防犯ブザー

他府中市民の中で発生する諸問題を解決するための行政組織について

生じており、特定の事業見直しを見込んでいるのではない。議員 基金と市債を活用する市財政のやりくりの中では、再開発事業など新規の大規模事業を進めるのではなく、既存の大規模施設の改修を優先すべきである。

そこで、既存の大規模施設の改修計画を早急につくり、共有すべきと思うがどうか。財政担当参事 22年度より、全庁の協議を始める段階であるので、適宜、議会へ報告していきたい。

市民が認識することが重要と考える。

そこで、安全・安心の観点から希望する市民を対象に、音の認識を広めるため、防犯ブザーの販売をしてはどうか。教育部長 防犯ブザーの安全確保に果たす意義を改めて認識し、提案については、今後市長部局とも連携を図る中で検討していきたい。

落葉樹の剪定時期
前倒しの考えは樹木の状況を踏まえ
検討していく

手塚 歳久議員(市フオ) 落葉樹の処理が大変な落葉樹については、落葉の前に剪定して欲しいという声を聞く。落葉樹の剪定時期の前倒しには、落ち葉ごみの減量や公園・歩道等の美化、剪定枝葉の有効活用等の効果も期待できると思



▲剪定された街路樹(御猟場道)

うが、剪定の早期化の考えは。水と緑事業本部長 樹木に勢いのない状態では、落葉前の剪定により、枯れることもあるため、早期化は、樹木の状況を踏まえて検討していく。

議員 御猟場道や学園通りの街路樹等について、早めの剪定を要望し、実施してもらった経緯があるが、剪定を早めている場所の樹木の種類は。都市整備部長 御猟場道の街路樹はユリノキ、学園通りはトチノキとアオギリである。これらは葉が大きく、落葉後

「ゴミ分別の異常な世界」という
本の内容は本当なのか取材を受けていないので
何ら根拠はないと思っている

杉村 康之議員(市フオ) 「ゴミ分別の異常な世界」という本には「稲城市長は言う。『うちにある焼却工場で府中市のごみを処理したいなら、ダストボックスを廃止しなさい』と通告し、府中市長に約束させたんだ」と、「小金井市にある焼却工場でも燃やしていたが、工場が閉鎖された。困った府中市は稲城市に頼んで持ち込みを認めてもらったが、条件が付いた。ダストボックスの廃止、ごみの有料化・戸別収集の3つだった」とあるが、

これは本当なのか。ごみ改革推進本部長 そういった話はないが、多摩川衛生組合の加入に際し、ごみ減量に配慮すべきだろうという話を受けた記憶はある。

議員 もし、内容が違うのであれば、はっきりと公の場で否定すべきと思うがどうか。副市長 読んでいないので分からないので、取材を受けていないので、何ら根拠はないと思っています。

他府中市の緊急経済対策のねらいと成果は

雨にぬれると歩行者が滑るなどのおそれもあるため、早期の剪定を実施した。

他 西府駅開業後の状況について選挙の期日前投票の拡充について

多摩川衛生組合の溶融スラグ
山積みの状況をどうするのか3000トンを引き取るとともに
抜本的な検討を組合に依頼している

西宮 幸一議員(市フオ) 本市が加入する多摩川衛生組合では、溶融スラグの生成を行っているが、同組合のホームページ上で、溶融スラグが敷地内に山積みになっており、利用を呼び掛ける旨の記述が掲載されている。山積みが起きている背景は何か。

ごみ改革推進本部長 土木関係の民間事業者が不況のあおりを受けたことや、都市基盤整備を概ね終えている構成各市の中・大型公共事業の減少等を要因として、需要が落ち込んでいるためと考えられる。

議員 この状況に対し、どのような対応を考えているか。ごみ改革推進本部長 本市分として溶融スラグ約3000トンを引き取る準備を進めている。将来的には製造の是非も含めて抜本的に検討する必要があるが、検討会の設置や専門家による研究等を進めるよう同組合に依頼している。

他 低炭素社会構築に向けた府中市の取り組みについて

※溶融スラグ：焼却灰等を高温で溶融したものを冷却した固化物